

こどもたちが継続的にスポーツ・文化芸術活動に 親しむことができる環境整備について

教育総務課・学校教育指導課
(関係課)

文化推進課・スポーツ推進課
社会教育課・公民館・学務課



部活動の意義

中学校学習指導要領

第1章 総則

第5 学校運営上の留意事項

1 教育課程の改善と学校評価，教育課程外の活動との連携等

ウ 教育課程外の学校教育活動と教育課程の関連が図られるように留意するものとする。特に、生徒の自主的，自発的な参加により行われる部活動については，スポーツや文化，科学等に親しませ，学習意欲の向上や責任感，連帯感の涵養等，学校教育が目指す資質・能力の育成に資するものであり，学校教育の一環として，教育課程との関連が図られるよう留意すること。その際，学校や地域の実態に応じ，地域の人々の協力，社会教育施設や社会教育関係団体等の各種団体との連携などの運営上の工夫を行い，持続可能な運営体制が整えられるようにするものとする。

「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」（H30 スポーツ庁） （抄）

学校の運動部活動は、・・・体力や技能の向上を図る目的以外にも、異年齢との交流の中で、生徒同士や生徒と教師等との好ましい人間関係の構築を図ったり、学習意欲の向上や自己肯定感、責任感、連帯感の涵養に資するなど、生徒の多様な学びの場として、教育的意義が大きい。



スポーツ庁・文化庁が示す地域移行の課題・方向性

- ・スポーツ庁「運動部活動の地域移行に関する検討会議提言（令和4年6月）」
- ・文化庁「文化活動の地域移行に関する検討会議提言（令和4年8月）」

課題

- 部活動の持続可能性という面で厳しさが増しており、深刻な少子化が進行
- 休日も含めた部活動の指導が求められるなど、教師にとって大きな業務負担
- 地域では、スポーツ・文化芸術団体や指導者等と学校との連携・協働が十分ではない

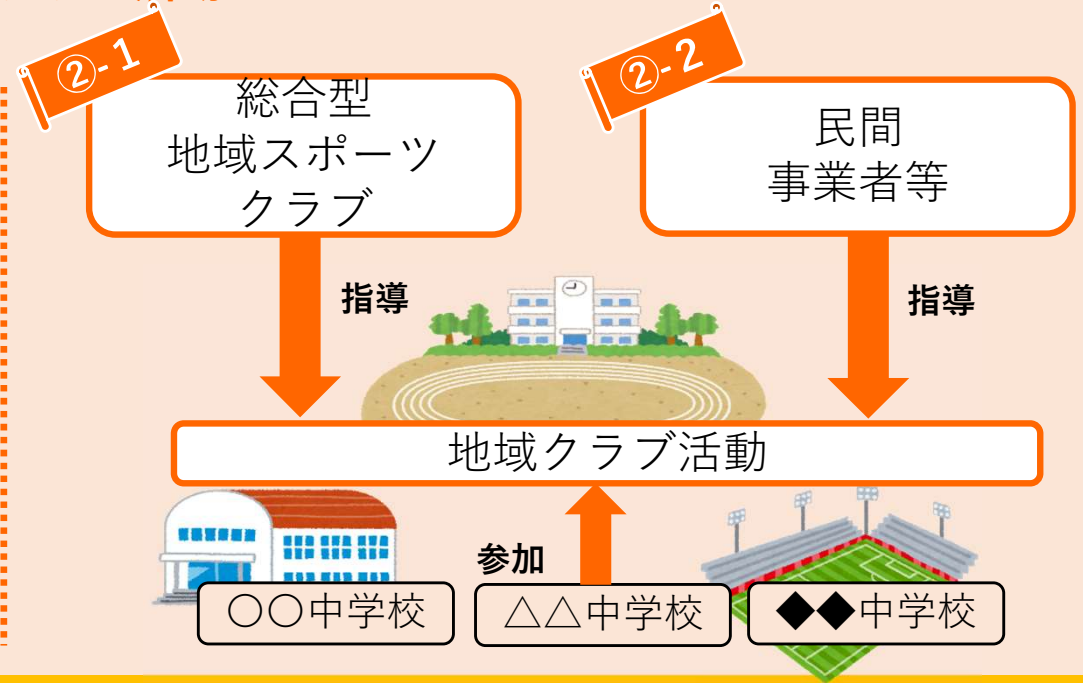
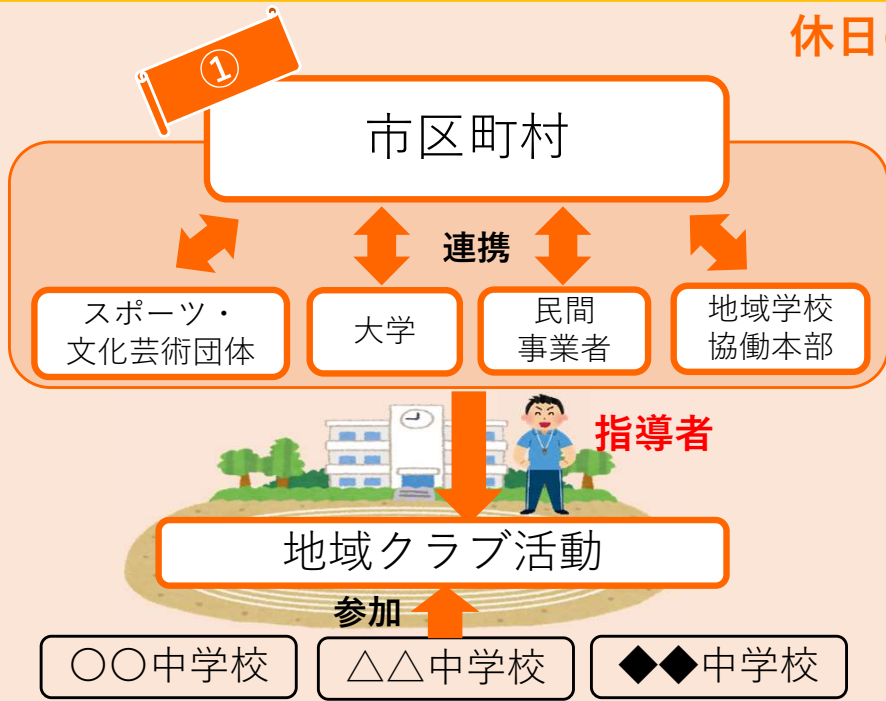
方向性

- 対象期間：令和5年度から令和7年度まで
- 休日の部活動から段階的に地域移行
- 平日についてはできるところから実施
- 地域におけるスポーツ機会・文化芸術に親しむ機会の確保、生徒の多様なニーズに合った活動機会の充実等にも着実に取り組む
- 地域のスポーツ・文化芸術団体等と学校との連携・協働の推進



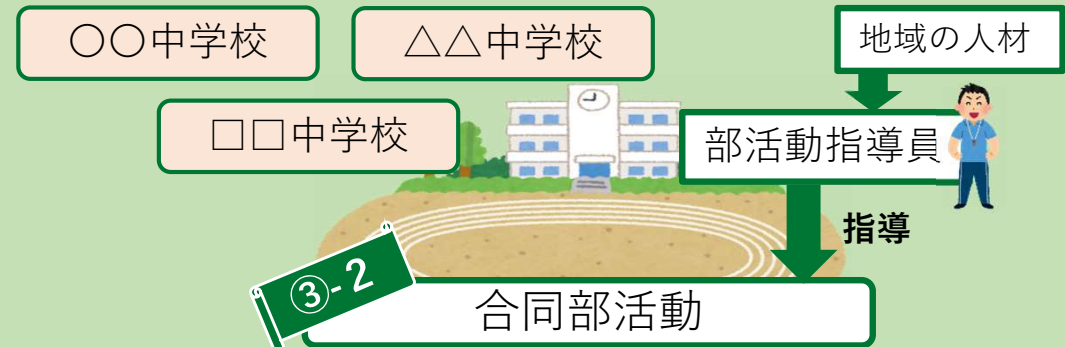
国が示す地域移行の体制例

休日の地域クラブ活動



※直ちに①②のような体制を整備することが困難な場合

学校部活動の地域連携



出典：スポーツ庁「令和5年度 予算（案）」

県が示す地域移行の課題・方向性

- ・神奈川県「公立中学校における部活動の地域移行に係る神奈川県の方針（令和5年10月）」

課題

- 部活動数減少により、入りたい部活動が学校にないなど、生徒の部活動の選択肢が狭まり、多様な生徒のニーズに対応できなくなってくる
- 顧問教員は、部活動の指導に係る長時間勤務や休日勤務を含めた勤務時間に負担を感じている

方向性

- 対象期間：令和5年度から令和7年度まで
- 持続可能な活動環境の整備
- 部活動指導員と外部指導者の活用
- 地域の実情に応じた取組
- 先行事例の波及



県が示す地域移行の体制例

学校部活動の運営の改善

学校部活動として運営しつつ、外部指導者の活用や地域連携等により、生徒の活動保障及び教員の負担軽減の取組を行い、中長期的に部活動運営の方向性を検討

+α

外部指導者活用

合同部活動

休日の練習を複数校で実施、拠点校部活動や合同チームでの大会出場、各校顧問の当番制等の導入等を検討

+α

外部指導者活用

学校部活動の地域連携

地域スポーツ・文化芸術 団体等運営型

総合型地域スポーツクラブやスポーツ協会、文化芸術団体等が運営事務局となり、活動場所や指導者を調整

複数の方法を組み合わせることもできる

市町村運営型

市町村が運営事務局となり、外部団体等と連携して、活動場所や指導者を調整

+α

外部指導者活用

指導を希望する教員の兼職兼業による活用

地域クラブ活動

茅ヶ崎市の部活動に関するこれまでの取組

活動方針

- ・【令和4年3月】国のガイドライン及び県の方針の趣旨を踏まえ、本市の生徒の生涯にわたってスポーツや文化的な活動に親しむ態度を育むとともに、生徒のバランスの取れた健全な成長と教職員のワークライフバランスの実現を図るため、休養日の設定などを定めた「茅ヶ崎市立学校における部活動の活動方針」を策定。
- ・【令和5年5月】校外での活動の引率を教員だけでなく部活動指導協力者もできるように活動方針を改訂。
- ・【令和6年4月】県の「公立中学校における部活動の地域移行に係る神奈川県の方針」（令和5年10月策定）を踏まえ、本市の地域移行に関する基本的な考え方を活動方針に追記し、活動方針を改訂予定。

部活動指導協力者

- ・【平成6年4月】各学校のOB・OGや、退職教員、教員の関係者等といった地域のスポーツや文化芸術活動の経験者を部活動指導協力者として、各学校で活用を開始。
- ・令和5年5月1日現在、運動部は43人、文化部は43人の部活動指導協力者を活用。

合同部活動

- ・部員数減少のため、必要に応じてチーム競技の合同部活動により運営。平日は各学校で練習し、休日の活動は合同部活動として実施。
- ・令和5年5月1日現在、茅ヶ崎・寒川地区の運動部のうち、軟式野球、ソフトボール、サッカーで合同部活動を実施。

庁内検討会議

- ・【令和4年度】国や県の動きを受け、本市でも関係課（企画経営課・文化生涯学習課・スポーツ推進課・教育総務課・学務課・学校教育指導課）で、今後の部活動の在り方や生徒のスポーツ・文化芸術活動の環境整備を協議するため庁内会議を設置し、4回会議を開催、年度末に市長・両副市長協議を実施。
- ・庁内会議及び市長・両副市長協議を経て、本市の目指す姿は「こどもたちが、将来にわたり、スポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる。」と決定。
- ・【令和5年度】関係課に社会教育課、公民館を加え、庁内会議を3回実施。
- ・【令和5年11月】市内13校の生徒に対し、部活動（運動部・文化部）の在り方アンケートを実施。

茅ヶ崎市の目指す姿のイメージ

こどもたちが、将来にわたり、スポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる。

民間事業者
インストラクター

スポーツ
推進員

教師
(兼職兼業)

保護者

大学生

地元
アーティスト

公認スポーツ
指導者

退職教師

ボランティア
市民

サークル
(社会教育団体)

活動場所



民間施設



学校施設



社会体育施設



社会教育施設

地域の多様性で対応

目指す姿の実現

こどもたちの多様なニーズ



プロサッカー選手
を目指したい



毎日絵を描いて
美大を目指したい



陸上で県大会に
出場したい



友達と楽しく
サッカーをしたい



平日ギターを練習して
週末はダンスをしたい

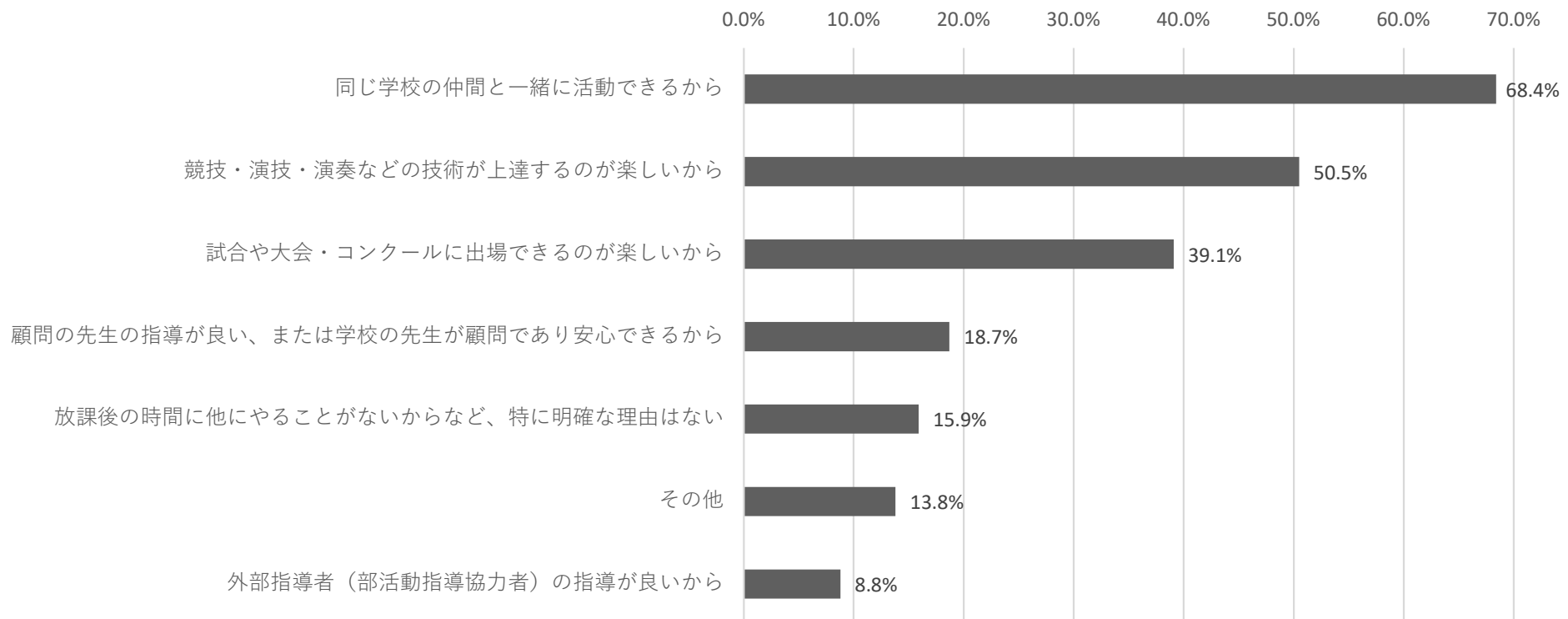


いろいろなことに
チャレンジしたい

部活動（運動部・文化部）の在り方アンケート

- ・市内13校の中学校1～3年生6,080人に対し、令和5年11月17日（金）～11月30日（木）実施。
- ・回答4,982件。（回答率81.9%）
- ・全18問。現在の部活動に対する考えや意欲、クラブチームなどの部活動以外の活動の状況、今後やってみたいスポーツ・文化芸術活動について質問。
→部活動の意義の確認や、今後部活動に代わるスポーツ・文化芸術活動の環境整備のための検討材料の収集を行う。

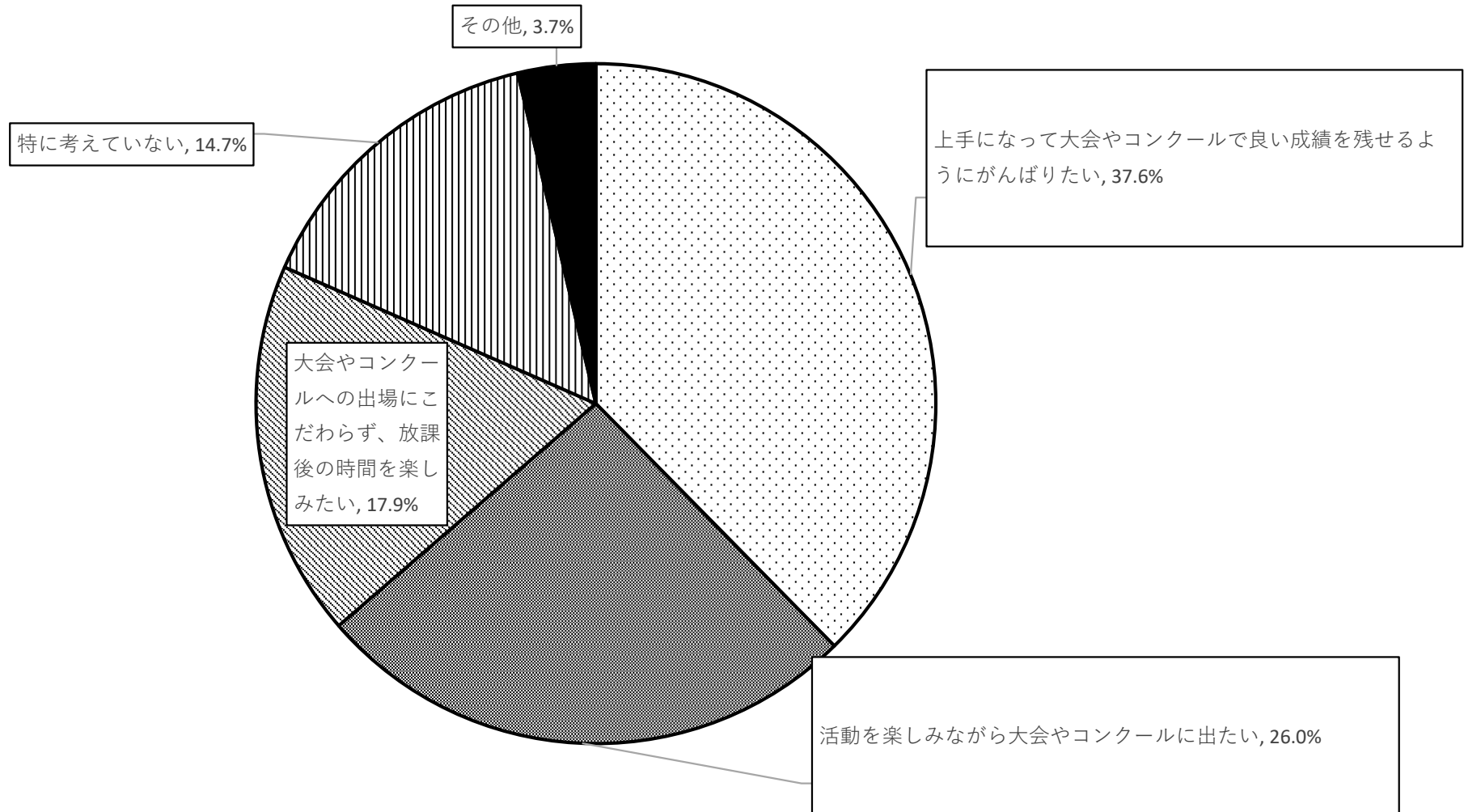
問6 あなたが部活動をする理由は何ですか。（複数回答） n=4,173(部活動所属者)



部活動（運動部・文化部）の在り方アンケート

問7 部活動には、どのような気持ちで取り組んでいますか。

n=4,173(部活動所属者)



- 上手になって大会やコンクールで良い成績を残せるようにがんばりたい
- 活動を楽しみながら大会やコンクールに出たい
- 大会やコンクールへの出場にこだわらず、放課後の時間を楽しみたい
- 特に考えていない
- その他

部活動（運動部・文化部）の在り方アンケート

問9 もしも部活動が学校になかったら、あなたは放課後や休日をどのように過ごしたいと思いますか。（複数回答）

n=4,173(部活動所属者)

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0% 70.0% 80.0%

自宅でゆっくり過ごす 73.7%

その時々で好きなことをする 71.7%

友人と遊ぶ 70.6%

自宅や学習塾で勉強する 51.8%

家族と過ごす 42.5%

地域でスポーツできる団体を探して、スポーツをする 17.8%

団体に所属せず、個人的に（もしくは友人と）スポーツをする 17.7%

団体に所属せず、個人的に（もしくは友人と）文化芸術活動を行う 4.4%

わからない 2.3%

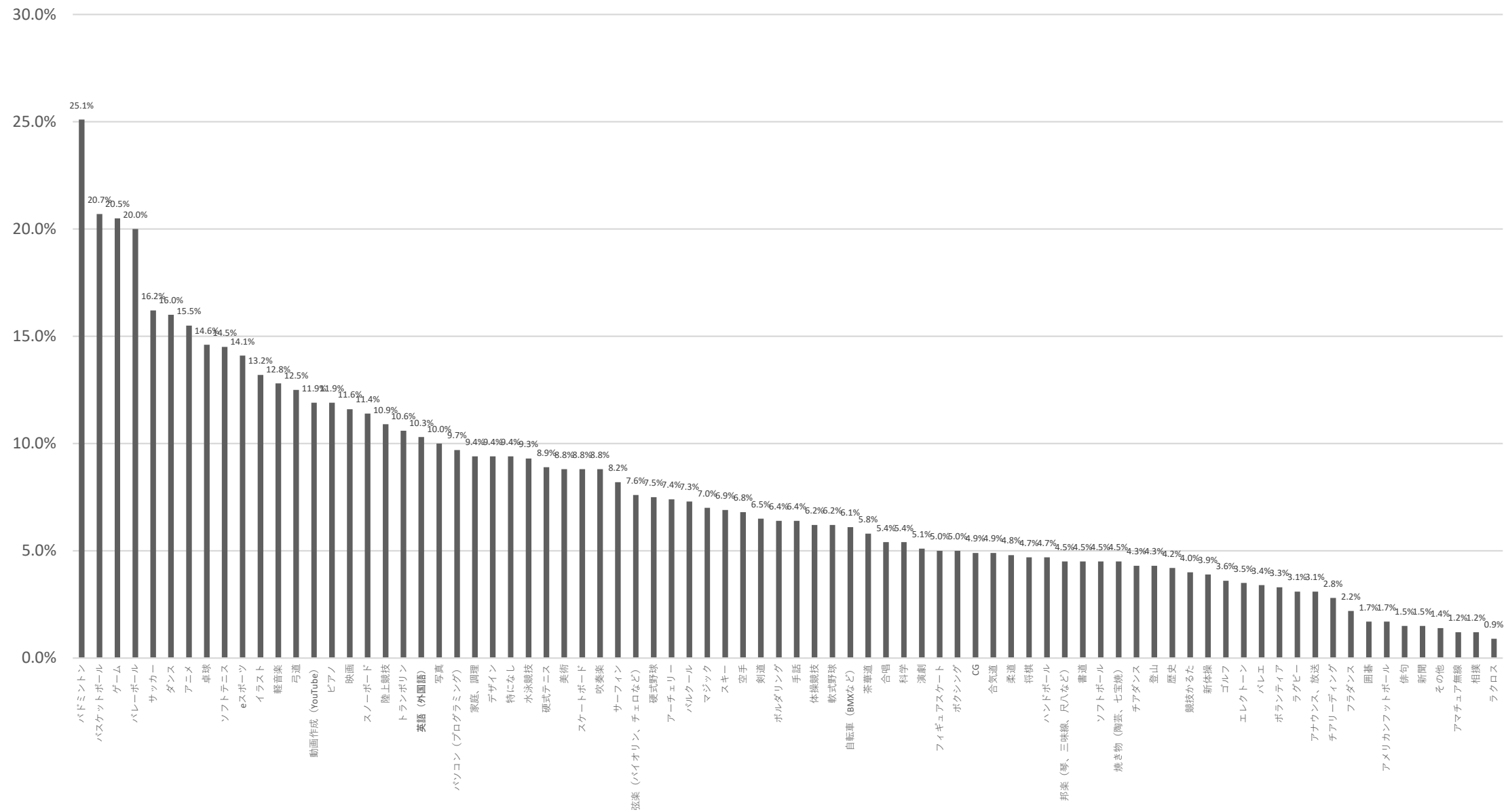
その他 2.3%

地域で文化芸術活動ができる団体を探して、文化芸術活動を行う 1.3%



部活動（運動部・文化部）の在り方アンケート

問18 あなたは、指導してもらう環境が整っていれば、これまでの経験の有無は関係なく、どのようなスポーツ・文化芸術活動をやりたいですか。あてはまるものを全て選択してください。（複数回答） n=4,982(全員)



市の地域移行の課題・方向性

・これまでの部活動に関する取組や庁内検討会議、生徒アンケート結果等を踏まえた茅ヶ崎市の課題と方向性

課題

- 今後、生徒・教員の減少により、部活動の選択肢が減り、生徒のスポーツ・文化芸術活動の機会が減る
- 部活動がなくなった時に、有意義な放課後を過ごすことができなくなったり、居場所がなくなったりする生徒が出てくる

方向性

様々な手法で、多様な主体と地域資源を活用しつつ、
こどもたちに多様な選択肢を用意していく。

- 対象期間：令和7年度から実施を検討
- 持続可能な活動環境の整備
- 部活動指導協力者といった専門的な外部指導者の有効活用
- 合同部活動の編成
- 新たな地域クラブ活動の創出と積極的な周知 等々